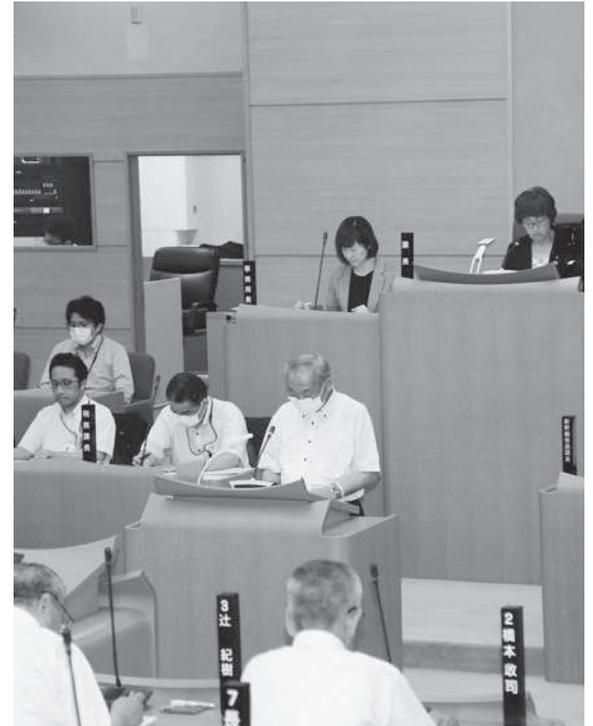


2024・6・18開会

第2回町議会定例会

令和6年第2回町議会定例会が、6月18日に開かれ、21日に閉会しました。この定例会では、木幡町長の行政報告のあと、各会計の補正予算6件等について審議しました。



木幡町長の行政報告

各会計の決算見込み

りました。

国民健康保険特別会計は、道支出金などの増により、三千七百六十二万五千円の繰越しとなりました。

介護保険特別会計は、介護保険給付費などの減により、九千八百二十九万七千円の繰越しとなりました。介護保険給付費に係る交付金等は翌年度に精算されることから、精算額が確定しだい議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、四月一日からの公営企業会計方式の適用に伴い、三月三十一日をもって終了とする出納整理期間が存在しない「打ち切り決算」となります。

歳入は四億五千七百二十五万九千円で、予算現額十一億四千六百六十二万八千円に対して六億八千九百三十六万九千円の減、歳出は四億五千八十三万八千円で、予算現額十一億四千六百六十二万八千円に対して六億九千五百七十九万円の減で、歳入歳出差引残額は六百四十二万一千円となりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度同量の十八万九千立方メートルで、ガス価

◆一般会計補正予算(第二号)

令和六年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ一億一千六百六十四万八千円が追加され、予算総額六十二億三千三百七十二万円となりました。補正のおもなものは、歳入に国庫支出金、繰入金の追加など。歳出はB&G防災倉庫整備にかかる工事請負費及び備品購入費、定額減税にかかる負担金補助及び交付金の追加などです。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ二十四万三千円が追加され、予算総額一億一千五百十三万三千円となりました。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ三百六十五万五千円が追加され、予算総額七億一千百三十七万五千円となりました。

◆介護保険特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ四百九十九万六千円が追加され、予算総額九億三千四百四万一千円となりました。

◆ガス事業会計補正予算(第二号)

資本的収入及び支出にそれぞれ六千万円が追加され、資

◆病院事業会計補正予算(第二号)

本収入予算総額一億二千二百八十万五千円。資本的支出予算総額一億五千三百九十六万三千円となりました。

◆収益的支出から一千四百二

万二千円が減額され、予算総額七億五千六百二十二万二千円となり、資本的収入に一千六百万円が追加され、資本的支出に一千七百六十万円が追加され、予算総額は収入一千八百五十五万九千円、支出三千八百六十八万二千円となりました。

後期高齢者医療特別会計は、七十八万五千円の繰越しとな

格激変緩和対策事業費補助金を併せるとガス売上は七十七万一千円の微増収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めて若干の改善はありましたが、原料費等の経費が高止まりしていることから、一千二百七十九万九千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金四億五千四百三十五万八千円に加えすと、当年度未処理欠損金は四億六千七百十五万七千円となります。水道事業会計は、年間給水量が前年度と比較して二立方メートル減の五十四万立方メートルとなりましたが、給水収益は七万円の微増収となりました。

事業収支では、経費の節減等により百七十一万八千円の当年度純利益となっております。

病院事業会計は、前年度と比較して入院患者数は十五・一パーセント増加しましたが、入院収益は三百六十万一千円の減収となりました。外来患者数は十・〇パーセントの減少となり、外来収益は二千五百二十二万五千円の減収とな

りました。

支出では、前年度と比較して医療費用が四十五万四千円の増加、医療外費用は十三万五千円の増加となっております。

事業収支では、一般会計から四億六千万円の補助金を繰入れた結果、一千五百四十六万七千円の当年度純利益となり、この当年度純利益を前年度繰越欠損金五億五千五百七十五万二千円から差し引きますと、当年度未処理欠損金は五億四千二十八万五千円となります。

なお、各会計の詳細につきましては決算上程の際に関係資料を提出いたします。

B & G 財団

次に、B & G財団「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業について申し上げます。

B & G財団では、頻発する全国的水害、土砂災害及び地震等の自然災害による集落孤立救助など、災害時の地域の自助・共助・公助の連携強化に役立てるため、令和四年度

に「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築」事業を創設し、防災倉庫の整備や資機材購入、重機や救助艇操作研修など人材育成に対する助成のほか、災害時相互支援体制の構築に対して支援を行っております。

このたび、本年度の事業要望についてB & G財団から意向の確認があり、本町が実施を希望したところ四月三十日に現地調査が行われ、審査の結果五月二十八日付で本事業に適用している旨の通知をいただいたことから、関連する費用について補正予算を本定例会に提案いたしております。

ふるさと納税

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の令和五年度の取組といたしまして、寄附受付サイトの返礼品掲載写真等の見直しや新規返礼品の発掘、支援委託業務の強化による専門性のある寄附傾向の分析、ふるさと納税関連イベントへの参加による新規寄附者の開拓、町ホームページ内に特産品特設サイトの開設や各種PR広告の実施などを図った結果、特にホタテ関連の返礼品が非常に好評だったこともあり、令和五年度の寄附状況は、四万八千三百九十一件、五億六千九万円と過去最高を大幅に更新し、前年度と比較して約四億四千七百円の増となりました。

今後も、町の魅力発信や返礼品等のさらなる充実を図るとともに、町を応援してもらうための取組を強化しながら、ふるさと納税による寄附の拡大を目指してまいります。

また、令和五年度の企業版ふるさと納税につきましては、本町に関わりのある企業に対して、寄附事業プロジェクトの内容を記載したPRパンフレットの送付を実施したことなどにより、十七件、一億四

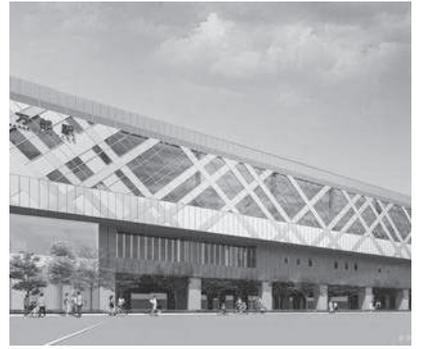
千八百三十五万円の寄附実績となりました。今後も積極的な広報活動を実施してまいります。

北海道新幹線

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

北海道新幹線札幌延伸に伴い建設される長万部駅の駅舎デザインにつきましては、鉄道運輸機構が昨年十月に示した三案の中から、交通の要衝として栄えたことを印象づけるデザイン案を選定し、四月五日に同機構に推薦書を提出いたしました。

選定したデザイン案は、「人と時代が交差する次世代に繋がる駅」がテーマのA案であり、ガラスを使用した透明感のあるデザインで、外壁に「交差」が表現されております。選定にあたっては、三つのデザイン案について、二月に町民や東京理科大学生などの町にゆかりのある人に投票を呼びかけ、投票された七百七票中、A案が最多の三百一票を獲得し、新駅のデザインを検討していた駅デザイン



絡協議会の首長とともに斉藤国土交通大臣と面会し、一日も早い開業と新たな開業時期の明示の緊急要望を行ったところであります。

検討委員会から三月十八日にA案を選定する旨の答申を受け、推薦することを決定したものであります。A案は、特に小中高生に強く支持されたものであり、今後百年以上使うであろう駅が将来も色あせない、町のシンボルとなることを期待しています。

北海道新幹線札幌延伸の開業時期につきましては、現在の工事の遅れにより二〇三〇年度の開業が困難であることが、五月八日に鉄道運輸機構から国に対して正式に報告されました。本町では、新幹線札幌延伸と新幹線長万部駅の開業を心待ちにしていますが、今後の開業時期は未定とされ、大変残念でなりません。これに伴い五月二十九日、北海道新幹線建設促進関係自治体連

絡協議会の首長とともに斉藤国土交通大臣と面会し、一日も早い開業と新たな開業時期の明示の緊急要望を行ったところであります。

本町では、新幹線開業に伴う地域の発展と経済の活性化を目指し、駅前周辺の都市施設の整備と駅前東口の土地区画整理を計画し、来年度の事業着手に向けて準備を進めております。開業時期は未定とされましたが、今後もまちづくりのスケジュールについては、これまでどおり二〇三〇年度までの完成を目指してまいります。なかでも自由通路は、令和四年に除却した中央跨線橋に替わる津波避難路の機能を兼ねており、早急に整備する必要がありますことから、引き続き関係機関との調整を進め、早期完成を目指してまいります。

町内の新幹線建設工事につきましては、現在五つのトンネル工事が施工中で、六月一日現在において、立岩トンネルのルコツ工区と豊津工区、豊野トンネルと幌内トンネル、国縫トンネルは掘削を完了し、残る覆工などを施工中であり、内浦トンネルの静狩工区では、

本坑五千五百七十メートルのうち四千三百四十九メートルが掘削されております。

さらに、地上部の明かり区間の工事につきましては、八つの工区で工事が施工中で、長万部駅高架橋の工区では工事の準備を行っており、その他の工区では新幹線構造物の基礎工などを施工中で、町内の工事は、現在のところ順調に進んでいるとの報告を受けております。

老人福祉関係

次に、老人福祉関係について申し上げます。

八十歳以上の高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中で、タクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう、料金の一部を助成しております。タクシータケットは、四月三日から役場窓口で、九日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付を行いました。五月末までの対象件数は七百四十八件で、交付件数は六百五十八件、約八十八パーセントの交付率であります。

す。

六十歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料金助成事業は、タクシータケットと同日に受付を開始しており、五月末までの対象件数は二千四百八十二件で、交付件数は九百五十九件、約三十九パーセントの交付率であります。

児童福祉関係

次に、児童福祉関係について申し上げます。

さかえ保育所の本年度の入所児童数は、定員六十名に対し二十三名となっております。一時保育事業の四月の利用は二名、小学校低学年児童受入事業の利用は、八名で延べ四十九日間、保育所に併設している地域子育て支援センターは、延べ十九組で五十二名の親子の利用となっております。放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学一年生二名、三年生二名、四年生一名、五年生二名、六年生三名の計十名の入所となっております。また、認定こども園であ

る「長万部マリア幼稚園」は、利用定員六十名に対し三十三名、昨年四月から認可保育所に移行した「いずみ保育園」は、利用定員四十二名に対し十八名の入園となっております。

生活環境関係

次に、生活環境関係について申し上げます。

令和五年度の本町のゴミ収集総量は、一千八百七十七トンで、前年度と比較して約七十トン減少いたしました。

渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、一千五百二十七トンで、前年度と比較して約二十トンの減となっております。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年二回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

また、ペットボトルのボトルt0ボトルのリサイクルを推進するため、三月十九日に株

株式会社JEP L A Nと「地域循環共生圏推進に関する包括連携協定」を締結し、四月から同社の関連会社に使用済みペットボトルを引き渡ししております。使用済みペットボトルは、ケミカルリサイクルという技術により、従来の方法よりも品質が向上したペットボトルに再生されることから、限りある資源の再利用による新たな石油資源の使用削減及び二酸化炭素排出削減に努めてまいります。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と行動が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

今後は、町民一人ひとりの意識と行動が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

農業関係

次に、農業関係について申し上げます。

飼料作物である牧草につきましては、昨年より十日あまり雪解けが遅く一時心配をしたところですが、四月後半から五月中旬までの天候が安定し、気温も一気に上昇したことを受け、五月十五日現在の

作況では、適度な降雨も加わり生育は順調に進んでおります。また、サイレージ用ともろこしについても同様の理由から播種作業、生育ともに順調に推移しております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を目的に、公共牧場の運営事業を行っておりますが、入牧予定牛の事前検査やワクチン投与等を行いつつ、牧場内での牛ウイルス性下痢等感染防止に努めております。

入牧状況は、町内酪農家の育成牛は四月二十八日に共立牧場へ二百頭、五月十八日に蔵岱牧場へ百頭を入牧いたしました。共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、本年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の育成牛の預託を受け入れ、五月十七日に九十八頭の入牧が終了し、町営牧場二カ所の合計で三百九十九頭の利用をいただいております。

また、公共牧場及び畜産農家において、植生改善による良質な自給飼料生産に不可欠な草地更新や暗渠排水整備等による農地の機能向上のため、本年度から令和九年度までの

期間、「道営草地整備事業」が実施されます。十戸の農業者が事業に参加し、総事業面積百五十ヘクタールの整備を予定しております。

農業生産額につきましては、生乳生産実績は、一月から四月までで二千七百六十八トン、乳代は二億九千七百十四万円となり、前年同月と比較して生乳生産量は二百六十六トンの減となりましたが、乳価の値上げ改定もあり乳代は一千三百九十六万円の増となっております。

また、黒毛和牛の一月から四月までの販売頭数は六十九頭、販売金額は四千五百十六万円となり、前年同月と比較して販売頭数で八頭の増、販売金額でも五百三万円の増となっております。概ね前年同月値を維持しております。



有害鳥獣駆除対策

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策は、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカ、特定外来生物であるアライグマなどが林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、本年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハントーによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後は関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

漁業関係

次に、漁業関係について申し上げます。

申し上げます。

基幹産業であるホタテ貝養殖漁業は、令和五年度の生産量は約一万三千八百七十六トンで、前年度と比較して一千八百三トンの減となり、生産額は三十五億八千十三万円で、前年度と比較して二十億二百六十三万円の減となっております。この要因は、中国向けホタテ貝の輸出が禁止されたことと生育不良が重なり、水揚量が減少したものと考えられます。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、三月に長万部町地域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約九十八パーセントとなり、例年と比較して良好な生育状況となっております。

商工観光労政関係

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

地域経済は、国際情勢の変化や長期化する物価高騰により、厳しい状況が続いており、今後の経営不安の解消と事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付け

を関係機関と連携して実施しております。また、三月より実施いたしました、くらし応援商品券第三弾につきましては四月三十日をもって終了しております。

観光振興では、引き続き長万部町、豊浦町、黒松内町の三町連携「はしっこ同盟」による広域連携事業を中心とした活動・取組を一層強化してまいります。



おります。

建設関係

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅（仮称）新南部団地建設工事第一工区を令和七年三月十日までの工期で発注しております。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。土木事業では、町道佐渡ヶ島線ほか側溝改良工事を十月三十一日までの工期で発注しております。

なお、本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、新幹線工事関係者が町内の温泉旅館に長期滞在しているため、大規模な受入は困難な状況であります。温泉利用組合と連携し、受入の調整を行っていきたくと考えて

道路維持関係では、舗装補修工事は十一月十五日までの工期で、道路排水清掃は十一月二十九日までの工期で発注しております。その他、町道

及び河川の維持補修等については、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園パークゴルフ場は四月十二日に、長万部公園キャンプ場は四月十九日にオープンしたところであります。

公共下水道事業

次に、公共下水道事業について申し上げます。

令和六年度で満了となる公共下水道事業計画の変更認可業務委託は、令和七年二月二十八日までの工期で実施中であります。

病院事業

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため発熱外来を開設しております。患者の受診状況を踏まえ、七月から発熱外来を終了し、内科外来にて対応する予定としております。

また、外科につきましては



出張医による診療となっておりますが、引き続き常勤医師の確保に努めるとともに、町内唯一の病院としての役割を果たしてまいります。

教育関係

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者十二名から申請があり、六十七万八千九百四十二円を四月二十五日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。また、長万部高等学校通学費補助は、国縫、黒松内町、八雲町及び森町の通学者八名から申請があり、百一万三千五百六十円の支給を予定しております。

国公立大学生及び東京理科

大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生二名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し奨学金の決定をしております。

消防関係

次に、消防関係について申し上げます。

五月末現在の火災件数は、建物火災が二件発生しております。

救急件数は百五十五件で、急病が七十一件、交通事故が七件、一般負傷が二十二件、その他転院搬送などが五十一件、ドクターヘリによる搬送は四件となっております。

火災予防につきましては、春の全道火災予防運動期間中、署員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の状況につきましては、三月三十一日付けで団員六名が退団、現在の団員数は、基本団員が百五名、女性団員が十二名、機能別団員が十五名で、合計百三十二名となっております。